

2023/秋号

Vol.8

とらねこしろう

# 虎猫思想

君たちは、どう生きるにや。



## 「宍粟牛」柴原精肉店 真っ直ぐに50余年

但馬牛の血統を受け継いだ仔牛を  
冷涼な契約牧場で育てる

「宍粟牛」は、自社契約牧場で改良肥育した柴原精肉店のオリジナルブランド。多くの銘柄牛と同様に但馬牛の血統を受け継いだ仔牛を特別に配合した飼料で3年間かけ育てる。独自のブランド名を冠しているのは、品質の良いものを買いたい、価格で提供するため。生産から販売まで独自の流通ルートでコストを抑えることが大切との思いがこのスタイルを生み出した。

品質コストともに良いと、全国からリピート客が後を絶たない「宍粟牛」。もしかすると近すぎて気づいていない魅力があるかもしれない。



## 自分の心と直感に従い 自分の描いたビジネスを

「ジョブズが余命宣告を受けた後にされたスピーチを、たまたま雑誌で読んだんですよ。人生は限られている、やりたいことをやる時にやるとけという内容になるほどそりゃそうやな。じゃあ俺もやっぱやっとかないかなと」。

50年以上続く老舗精肉店の2代目店主である柴原政司さんは常に働いている。その理由は？と聞いたところ、アップルの創業者であるスティーブジョブズが2005年にスタンフォード大学の卒業式で行った伝説のスピーチの話が返ってきた。

店の手伝いを始めたのは10歳の頃。自身が大人になってから精肉を扱い、苦

勞した創業者の父に早くから包丁の扱いを学んだ。20歳になる頃には肉質の違いが触っただけでわかるようになってきたそうだ。「感覚つてのは経験の積み重ねやからね。時代には合わないかもしれないけど」。以来、家業一筋。60歳になる来年には、精肉業界でのキャリアは50年になる計算だ。休むのは、正月以外に年間4回。それ以外の日は朝6時に店へと出て、夜9時すぎまで仕事をす。 「従業員やったら完全に労基違反ですわ」と笑う。

解体や加工で忙しい毎日。店での休憩中に何気なく手に取った雑誌で、自

分の心と直感に従う勇氣を持つことを教えてくれるこのスピーチと出会ったという政司さん。「プライベートを充実させたとしても、こうしといたらよかった、ああしといたらよかった、と何年か先、何十年か先に思うかもしれないですよ。そしたら10年先にはひよつとしたら面白いことになつとるかも分らん。ずっと今まで休まずに続けとったら、実際にだんだんお客さんも増えるし、喜んでいただけるし」と悪戯っ子的ように笑う政司さんに、柴原精肉店の歴史を振り返ってもらおう。



## 試行錯誤しながら 育て上げたブランド牛

柴原精肉店の創業は、1964年に政司さんが生まれる、その2年前にまで遡る。「親父が肉屋を始めた頃、他と違うことをやりたかったらしいんですね。当時、カローラ1台が80万円ぐらいだったらしいんですよ。牛1頭は40万ぐらいだった。じゃあ車を買ったと思って牛を2頭買おうぜと」。その頃は、あちこちに牛を飼っている農家があったため、そこに預けて育ててもらう形で生産が始まった。「全くの素人ですからね、最初は思ったような仕上がりにならなかったようです」。それでも協力してくれる農家の方と話し合いながら改良し、試行錯誤しつつも良質の牛肉に仕上げていった。政司さんが物心ついた頃には、20頭ほどの牛を飼育。それも手狭になり、協力してくれる牧場に依頼し5カ所で育てていたこともあるという。現在も契約農場としている道谷牧場に一本化したのは25年ほど前のことだ。「長い期間、肉質の統計をとっているんですが、道谷の品質が格段にいい。水や餌などは同じなので地形が影響しているのだから」ということで一本化したら品質



が安定してきました」。その頃、ヤマト運輸のクール宅急便を皮切りに、冷蔵の宅配便が流通業界のスタンダードになったことで、東京や大阪などの顧客も増加。地方発送が本格化するにつれ、ギフトシーズンには遠方のお得意様へ鮮度の良い肉を届けてほしいという依頼も増えていった。

さらに柴原精肉店の名が広まったのが、ふるさと納税制度だった。2014年に返礼品として登録したところ「スタートしてすぐにわーっと注文が入ったんですよ。他の銘柄牛と比較すると量も多くて、品質も良い。それがお客さんに喜んでもらえた」。実は人気の秘密は、それだけではない。柴原精肉店では、冷凍するとどうしても品質が落ちてしまうと冷蔵真空保存がモットー。そのため不在などで受け取りができないと品質を損なうリスクを伴う。どうしたら解消できるか……。柴原さん家族の出した答えは、「とにかく先方がおられる日にちと時間を伺って送ったら間違いなく手元に届く。であれば、電話かメールで一軒一軒、何千件、何万件あろうと全部連絡をとる」だった。

宅急便のシステムが今のようになっている頃から通販に力を入れていたことから、不着や誤着を防ぐために確

認するのは柴原精肉店では当たり前のこと。だが、電話を受けたお客様から感動されることが多いと不思議そうに話す。「ふるさと納税のビジネスモデルを調べていた経済評論家の方も驚かれて本に載せたいとインタビューされました。こういうふうな事前連絡するところは、日本全国見てもほとんどないらしいですね」。先方の満足度が高いからといって日程の変更などにも一つひとつ対応するのは、手間ではないのかと問うと、ちよつと考えた後に「自分がそうされたら、嬉しいでしょう？ 孫の誕生日が近かったとして、その日に届けてくれて美味しかったら、また次もここに頼もうぜと、やっぱりそうなるでしょう」とさらに不思議そうに首をひねった。





この地が育んだ男気と  
仲間との連携で我が道を

忙しい合間を縫って、イベント出店も  
行っている柴原精肉店。もともと宍粟牛  
と名付けたのも、兵庫県内であつても  
漢字が読めないと言われる「宍粟」とい  
う名前を多くの人に知ってもらいたい  
から。そのため声がかかったイベントには  
極力参加するという。無理に頼まれたわ  
けではなく自主的だからこそ、そこに「や  
らされ感」は一切ない。「イベントは楽しい  
ですよ。いろんな人と出会って、田舎やけ  
ど初めて出会う人も何人かおるし。特に  
子どもの反応が一番面白い。子どもは高  
くてもまずかつたらまずい。大人は付度  
をするから裸の王様になる」。胸がすく  
ようなことを堂々とやってしまうのが柴  
原流。常に、きつとこうするとよくなる、  
ああすればもつといい、と考えているのが  
伝わってくる。イベントでは原価は度外  
視。「息子にも言うんやけど、計算して入  
れるな、(肉を)あふれるほど入れろと。  
それで行列がきたり、喜んでもらえ  
りしたら、イベントに呼んでくれた人や  
行政の人たちも喜んでくれる。それでい  
い」。歯切れよく飛び出す言葉の数々は、  
聞いていてもスカッと気持ちがいい。だが

自分では、地域貢献をしているという  
つもりはないのだそうだ。「狂牛病やO157  
の風評被害で精肉業界が大変だった時  
もうちのお客さんは減らなかつた。助け  
るということではなく、普通に買い物して  
くれました。結果、私が助かったと。それ  
と同じで、イベントに出て地域貢献になっ  
たとしてもそれは結果論で、わたしはい  
つも通りやっているだけ」。そして、ついや  
りすぎる。チクショウって思っている人も  
おるかもしれんね、と首をすくめた。  
「こうせなあかんね、こうしたいな、こ  
んななんええななって思ったら、もうやっ  
てまうんですよ。もちろん全部が全部成  
功せんのですが、ちよつとぐらい痛い目  
あうぐらいええがな、やってみようぜ、  
て(笑)」と言う政司さんが、息子さん  
にはたまに、やりすぎだと注意されると  
か。「自分の考えをはっきり述べるよう  
にしとんですよ。理由もちゃんと、こ  
うやら、と言うようにはしています。た  
だ意見を言う時は相手がどう思うかは  
考えずに、自分の考えを言うようにし  
とるんで、ちよつとあれかな。気をつけ  
なあかん」と笑った。



柴原精肉店  
宍粟市一宮町東市場460-3  
営/9:00-19:00  
定休日/なし  
☎/0790-72-1340  
FAX/0790-72-1150  
<https://www.ne.jp/asahi/shisou/ushi/>

男気ある住民グループの活動を応援！

8月26日にフォレストステーション波賀  
で行われた「波賀森林鉄道」の完成記念式  
典では、来場者・スタッフへ宍粟牛バーガー  
を振る舞った。地域活性化に向け、「波賀森  
林鉄道」を復活させようと尽力する波賀元  
気づくりネットワーク協議会の松本貞人会  
長からは「そんなに気を遣わないでくれ」と  
言われたそうだが「昔からよく知っている  
けれど貞人くんは常に腰が低くて気を遣っ  
てくれる。そういう人だから応援したい」と  
300個のバーガーを用意した。新聞記事や文  
献には残らないかもしれない。だが、互いに  
気遣いながら、影に日向に走り回れる、そ  
ういう人たちが地域を支えている。





## コツコツと9年かけて 「紫美人」を生み出した



Greenファーム  
賀川 豊之 さん

他にないものをつくることが楽しくて仕方ない様子の賀川さん。チャーミングな永遠の少年なのだ

## 尽きることのない好奇心と 探究心が元気の源

全国的に気温が高くなった今年の夏。山崎町塩山にあるのGreenファーム 賀川豊之さんを初めて訪ねたのは、太陽がジリジリと照りつける8月下旬のこと。賀川さんは、安心な農産物の生産及び農林水産物の加工製造に必要な技術を習得・実践する人を兵庫県西播磨県民局長が認定する西はりま食の達人のひとり。賀川さんが9年前から交配による品種改良に取り組んできた珍しい野菜が昨年、公益財団法人しそく森林王国観光協会の「しそくブランド認証品」に認証されたと聞き、一度お会いしたいと訪ねたのだった。

賀川さんは昭和17年生まれの81歳。早朝から畑に出て野菜や花の世話をする姿は年齢を感じさせない。出身はたつの市新宮だが、日本中が好景気に湧く1950年代にはジャズバンドのドラマーとなり、神戸を経

て上京。表舞台から裏方のプロモーターまで経験したのち関西に戻った賀川さんが、縁あって宍粟市へと居を移したのは50年ほど前になる。以来、金属加工関係の会社勤めの傍ら、休日になると農作業を行うようになったそうだが、そこで生来の好奇心と探究心が顔を出した。一般的な米や野菜の栽培だけでは飽き足らず、キウイフルーツなどと次々と新しい作物にチャレンジしていった賀川さん。一方で、農業を一切使わないという方針を定め、現在も貫く。キウイ棚では5〜6種類の品種を栽培。グリーンキウイはもちろん果肉が黄色や赤のキウイも早い段階から栽培する。珍しい品種の山野草も多く育て、国見の森公園のボランティア活動スタッフとして「苔玉づくり」などの体験プログラムも担う。

でも頭が下がるが、それだけでは飽き足らず、他にはない新品種をつくらうと思いついた。当時、賀川さん72歳。完成するまでに9年を要した。「突然、緑色に戻ったり、いつの間にか他の畑のとうがらしと交配して辛味が出たり、試行錯誤の繰り返し！」と闇達に笑う賀川さん。そうやって完成させたのが、甘とうがらしをもとに交配を重ね、ポリフェノールを含んだ紫色へと改良した、ツヤツヤと黒紫色に光り輝く甘とうがらし「紫美人」だ。見た目は奈良県で古くから栽培されている紫とうがらしに似ているが、サイズ感がまるで違う。肉厚でジュシー、炒めるとサツと鮮やかな緑色に変わる。油との相性も良いけれど、生で食べてもみずみずしいという唯一無二の野菜。旬は7月下旬から11月ごろまで。見かけた際は、ぜひご賞味あれ。

「紫美人」は、こちらで購入できます！

- 山崎町 JA兵庫西「旬彩蔵 山崎」、「土万ふれあいの館」
- 神戸市 西播磨ふるさと特産館「好きやde西播磨」
- 姫路市 ふるさと宍粟PR館「きて一な宍粟」







ほんのりシソがアクセント /  
 宍粟牛の旨味を  
 閉じ込めた巻き寿司



ポリューミーだけどサッパリ味わえる。  
 「しそうし巻」1本1,200円、ハーフサイズ600円

宍粟らしさを、  
 “ぎゅう”と凝縮

柴原精肉店のオリジナルブランド「宍粟牛」が味わえる飲食店の中でも、宍粟牛を使った名物があるといえば「回転ずし 活いき亭」。ちょうど阪神の「アレ」が決まるかどうか、という日とあって、ソワソワと落ち着かない店主を取材した。

店主・小野正治さんの父が1984年に回転寿司チェーンの宍粟店として創業した同店。その後、独立経営となり、現在は二代目の正治さん夫婦とベテランの寿司職人が地元密着で営業している。回転寿司ではあるもののブースに職人が立ち、市場で毎朝仕入れた魚介と酢加減の良いやシヤリと合わせて目の前で握ってくれるのが特徴だ。メニューを見るとマグロ、イカなどいろいろ楽しめる3貫セットも多く、サラダ系から中トロ、ウニなどが揃う寿司皿は100円から500円とリーズナブル。焼き鯖寿司としめ鯖寿司は、分厚い身と塩と酢が調和。回転寿司チェーンの名残を感じる店構えからは想像できないほど、しっかり仕事をしてお寿司が味わえる。という叱られるだろうか。

そして今回お目当てのメニュー「しそうし巻」はというと…。ある時、宍粟市にちなんで「しそ」と「うし」を使ったメニューをつくらうと思いついた小野さん。せっかくであれば

宍粟独自の牛を使いたい、と柴原精肉店へと出向いた。かくして宍粟牛を100%使用、薄切り肉をミルフィーユ状に重ねシソをプラスしてカリッと揚げた牛カツを、酢飯ともよく合う自家製ソースとキャベツとともに巻いた「しそうし巻」が誕生したのだ。

「しそうし巻」を口に入れるとザクツとしたカツと千切りキャベツがなんと心地よい食感。酢飯のほどよい酸味とサラリとしたソース、そこに宍粟牛の旨味がジュワーツ。ミルフィーユカツは柔らかく、お肉の魅力がしっかり引き出される。絶妙なバランス、ポリュームともに文句なし。うーむ、この宍粟名物、控えめに言うて「アレ」である。



回転ずし 活いき亭  
 宍粟市山崎町山田114  
 営/11:00-21:00  
 休/火曜日  
 ☎0120-62-8038  
<https://www.ikiikitei.info/>





### 遊学座のルール

年齢・性別・国籍・趣味・嗜好等の縛りはありません。自由に自分の意見を伝え合うために、強制と批判は御法度。 攻撃的な方は即刻退場がルールです。



# しそ 遊学座

SHISO-YU-GAKU-ZA

この秋スタートする「しそ遊学座」は、変化の時代にそれぞれが対応できるように、さまざまな考えを持ち寄り、自分はどうあるべきかを探る「学び合い」の場です。「座」とは平安時代に端を発する寄合の場。その定義には諸説ありますが、この遊学座では「遊ぶように学ぶ」のが基本。上も下も造らず、ホストとゲスト、参加者が一体になって一緒に創っていくのが大原則です。他者の言葉を傾聴することから未知を知り、それぞれが問いを立て、互いに気づきを得る。多様な価値観がもたらす発見をともに面白がる。それが学び合いです。そう、学びは究極の遊びなのです。さあ、さあ、どなたさまもお立ち会い。楽しい学びの時間が始まりますよ。

### 主催

虎猫編集室 × しそ探検隊

穴粟を好きになり、定期的に訪れる「しそ探検隊」と住まいを移した「虎猫編集室」、ともに来訪者である我々に共通しているのは、地域のひとたちと一緒に面白いことがしたいという思いでした。そのためには地域のことを深く知るのが大切だし、お互いに学び合える場があればイイな、そんな会話から生まれたのが「しそ遊学座」です。

今後は毎月1回、土曜の夜に開催予定です。第一講は、10月28日(土)夜。少数の座につき、定員がありますので、お申込みはお早めに。  
Googleフォームはコチラ→



ゲストは山崎町のイチゴベース・構真吾氏。今後の海外展開の可能性についてなどグローバルな発言も。この日たまたま東京・浅草から穴粟を訪れた方から「今の時代、都会にあるものはお金を出せば世界のどこからでも買える。だがこの地にあるのは、お金を出しても買えないものばかり」という名言が飛び出すなど、座は白熱。今後の方向性が明確になりました。

「遊学座」を今後どのような場にしていくかを検証するために、「実験(プレ)講」を9月16日(土)に開催しました。ホストはしそ探検隊のメンバーが担当。神戸の会社経営者であり村山力氏がメインホストとなり、兵庫県立大学の小寺倫明准教授がサポートします。この日の



応援・協賛に  
ご協力いただいたみなさま。

虎猫思想では引き続き、趣旨にご賛同ご協賛いただける個人様・法人様を募集しております。ご連絡いただきましたら申込書をお届けします。どうぞよろしくお願いたします。

穴  
栗  
牛

## 柴原精肉店

住所／穴栗市一宮町東市場460-3  
TEL／0790-72-1340  
FAX／0790-72-1150  
営業時間／9:00～19:00  
定休日／なし



WEBサイト

ランチはもちろん、夜のお食事、仕出しもお気軽に！

## 大阪屋

<問合せ先>  
お食事・仕出し大阪屋 ☎0790-72-0070  
営業時間／昼11:00～14:00(L.O.13:00) 夜事前予約制  
定休日／毎週木曜 住所／兵庫県穴栗市一宮町安積1350-1



尼崎市・朴ゆりこさま

## コヤスの杜庭園

穴栗市山崎町上比地612

- 山崎町・福岡一志さま
- 波賀町・朴瞳さま
- むぎ&はな

虎猫思想を応援してください！

## 応援・協賛のお願い

「虎猫思想」制作には、1冊あたり約50円の印刷費・事務経費がかかっています。(制作費除く)

どうぞ、お力をお貸しください。

制作に関しては、引き続き内部でコツコツやっています。しかしながら、印刷費などがかかることは避けられず、小さな編集事務所だけでは経費負担が大きくなっています。

個人さま、法人さま問わず広く応援して下さる方を募集します。虎猫思想発行にご協力いただけないでしょうか。応援・協賛金は、全て印刷や発送などの経費に充てさせていただきます。

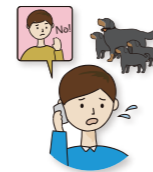


申込書ご提出および応援・協賛金をお振込またはご持参いただいた次の号からの掲載となります。よろしくお願いたします。

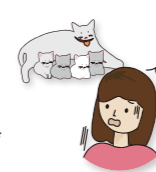


前回、野良猫を去勢せずに餌だけをあげることがなぜいけないのか、このコラムで書きました。が、「うちの猫じゃないけれど「お腹空かせてかわいそう」派の方々は、自分が良いことをしているので、ピンとこないようです。困ったもんです。

## 不妊・去勢手術をして 飼いましょう



動物は本能で繁殖を行い、自らの意思で繁殖をコントロールすることはできません。望まれない命を生み出さないためにも、責任を持って世話が出来る頭数を飼育しましょう。



### 不妊・去勢手術の主な利点と欠点

	不妊手術(卵巣と子宮の除去)	去勢手術(精巣の除去)
利点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●望まない妊娠がなくなる</li> <li>●卵巣や子宮の病気や乳腺腫瘍などの予防</li> <li>●発情期特有の困った行動がなくなる(大きな鳴き声、トイレ以外での排尿、外に出たがる、神経質になる等、犬では発情に伴う出血もなくなる)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●精巣や前立腺、肛門周囲の病気の予防</li> <li>●メスの興味による性的ストレスの軽減</li> <li>●発情期特有の困った行動がなくなる(大きな鳴き声、無駄吠え、マーキング、ケンカ、攻撃性、脱走など)</li> </ul>
欠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手術には全身麻酔のリスクがあるが、適切な麻酔管理で軽減できる</li> <li>●肥満傾向になるが、適切な食餌管理と運動で防げる</li> <li>※メスでは尿失禁が起きる場合があるが、治療できる</li> </ul>	

1頭のメス猫が…



1年後には20頭以上



2年後には80頭以上



3年後には2000頭以上



- メス猫は生後4～12ヶ月で子猫を産めるようになり、年に2～4回発情期があり、1回に4～8頭の子猫を産みます
- メス犬は生後6～9ヶ月で子犬を産めるようになり、年に約2回発情期があり、1回に3～10頭の子犬を産みます



環境省  
Ministry of the Environment

出典：環境省ホームページ (https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/)

## 思考停止は もうやめようにゃ。

確かに子猫は可愛いですが、猫は4カ月か12カ月で大人になり、子猫を産みます。その数、4～8匹です。その子たちにもエサをあげるから大丈夫？へー。その猫たちもまた、半年後にはパパママ猫になりますよ。いいい

すか？子猫の中にメスが4匹いたとします。最初に子猫を生んだママ猫と合わせて5匹のメスから、生まれる子猫はざっと20匹以上。まだ「カワイイ」とエサをあげますか？それとも棄てますか？あ、ちなみにそれ、犯罪です。

じゃあ、どうすればいいかと言いますと、動物病院に連れて行ってください。手術には1匹につき2～3万円ほどかかりますが、いつか手に負えなくなつて棄てるよりいいんじゃないやーい？

## 人と動物が共生するよりよい社会をめざして、 「動物の愛護及び管理に関する法律」が定められています。

愛護動物をみだりに殺し、又は傷つけた者は、5年以下の懲役又は500万円以下の罰金が科せられます。また、愛護動物を虐待又は遺棄した者は、1年以下の懲役又は100万円以下の罰金が科せられます。



#猫のいる  
幸せ

## 猫も人も、環境次第。



存率は10～20%といわれています。大人になってからも過酷な現状は変わりません。完全室内飼育の猫は平均して15年以上生きるといわれますが、野良猫の平均寿命は3～5年。それが現実です。

現代の日本では、野生の猫はほとんどいません。だから彼ら野良猫は、人間に棄てられたり、遠くに出かけて家に帰れなくなったりした、人間によってつくられた存在なのです。殺してしまえという野蛮な時代は終わり、野良猫たちに寄り添って考える人たちも増えてきました。地域の問題として取り組む自治体や政治家も少しずつ増えてきています。全国的に。



虎猫編集室  
Instagram

探しているとお聞きし、はるばる連れて帰ったのでした。ちなみにお寺では、行方知れずだった母猫も後日捕獲し、不妊手術をしてTNR(捕まえて手術をして元の場所に戻すこと)。子猫たちのご縁も繋がれています。

このように授乳期を安全なお寺の屋根裏で過ごし、しっかり母乳を飲み、捕獲後はすぐに動物病院で診察と適切な対応を受けることができたのは、まさに奇跡。外で暮らす野良の子猫の多くが直面する、危険や病気といったリスクを回避できるかどうかは、出会った人間次第です。

野良の子猫は、生まれた直後から暑さや寒さ、交通事故、獣やカラスなどの危険と隣り合わせ。成猫になるまでの生

今回の表紙は、虎猫編集室の新入り猫社員「ちくわ」です。今年の春、香川県は普通寺市にある四国八十八ヶ所霊場第76番札所「鶏足山宝幢院 金倉寺」の屋根裏で生まれました。母猫は、その少し前から1匹の子猫を連れて境内に姿を見せるようになっていた野良猫。1年に満たない子猫を置いて姿を消したため、住職のご家族が、残された子猫を飼い始めたのは年明けのことでした。それからしばらく経ち、どこからか小さな鳴き声をするのを不思議に思い、屋根裏を覗いたところ、よちよちと赤ちゃん猫4匹がゴロゴロと降りてきたそう。その最後に降りてきた一番小さな子がちくわ。幼名をアキちゃんと言付けられた小さな三毛猫が里親を